

平成30年度博士課程教育リーディングプログラム委員会議事概要

1. 日時：平成31年2月22日（金）15：00～18：00

2. 場所：日本学術振興会 3階会議室

3. 出席者：

（委員）有信委員、猪口委員、内堀委員、太田委員、奥村委員、金子委員、
鎌田委員、北川委員、北山委員、熊谷委員、新海委員、永山委員、
長谷川委員、林委員、吉野委員、鷺谷委員
（文部科学省）平野高等教育局大学振興課大学改革推進室長、
高橋高等教育局大学振興課大学改革推進室大学院振興専門官、
（事務局）里見理事長、牛尾理事、石田人材育成事業部長、成田大学連携課長

4. 議事概要

（1）POフォローアップ報告書・現地視察報告書等について（報告事項）

「委員会の審議内容等の取扱いについて」（平成23年6月6日博士課程教育リーディングプログラム委員会決定）1. 2）に関する事項につき、非公開。

（2）平成23年度採択プログラムの事後評価結果について

「委員会の審議内容等の取扱いについて」（平成23年6月6日博士課程教育リーディングプログラム委員会決定）1. 2）に関する事項につき、非公開。

（3）平成24年度採択プログラムの事後評価について

・平成24年度採択プログラムの事後評価について、【資料10】評価要項（案）、【資料12-1】事後評価修了者アンケート調査（案）、【資料12-2】事後評価学生アンケート調査（案）、【資料12-3】事後評価プログラム担当者アンケート調査（案）、【資料13】PO現地訪問時事後評価項目確認表（案）、【資料14】事後評価調書（案）、【資料15】事後評価書面評価書（案）、【資料16】事後評価現地調査実施要領（案）、【資料17】事後評価ヒアリング実施要領（案）、【資料18】事後評価結果案に対する意見申立てについて（案）、【資料19】事後評価結果（様式）（案）について、事務局より説明があり、質疑応答の後、資料については原案どおり了承された。

（4）採択プログラムに係るフォローアップについて

・採択プログラムに係るフォローアップについて、【資料20】採択プログラムに係るフォローアップについて（案）と【資料21】平成31年度（2019年度）フォローアップ等日程（案）について、事務局より説明があり、質疑応答の後、原案どおり了承された。

(5) その他

- ・文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長から、博士課程教育リーディングプログラム 2019 年度予算額案、中央教育審議会大学分科会でとりまとめられた「2040 年を見据えた大学院教育のあるべき姿～社会を先導する人材の育成に向けた体質改善の方策～（審議まとめ）」について、説明があり、これらも踏まえて、本事業全体に関して意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

○オーバードクターの問題を解決しないと博士課程に進学しようという学生はおそらく増えない。研究室における研究員の募集を行った際も、40 代の方まで応募してくることが多いのが現状。学生もやはり将来の夢が描けるような博士課程でないといけな。一度レールから外れるとネガティブなところに落ちてしまう、というイメージがあると、進学イメージは描けない。博士課程進学の方で出てくる上記のような要素も併せて解決するように考えないと厳しいと思う。

○アカデミアに進むキャリアが一番優れたものという思い込みが抜けていないように思う。また、ライフサイエンスの分野が重点化されていることで、その分野に進学する人は増えたが、その学生が進学した後のための枠が同様に増えているわけではない。そういった背景があり、今のような状況が発生している。さらに、学生の経済的な負担が大きいのも問題である。これだけ知識の変革がすすんでいて、新しいシステム・知見が増えているところに、それを身に付けた学生が世の中に出てきていないのは危機的状況である。今後の方策の検討を進めていく中では、そういった出口像を明確にしていくことが必要だと感じる。

- ・次回の委員会は、来年の2月～3月に開催することとした。